

青少年赤十字創設100周年記念岩手県ポスターコンクール実施報告

2022年は青少年赤十字創設100周年にあたります。その100周年を盛り上げようと前年の2021年5月6日～11月30日まで、岩手県独自の事業としてポスターコンクールを実施しました。**応募総数は353点**となり予想をはるかに超える作品が集まりました。

応募された作品から100周年のテーマ「未来のあなたへ、やさしさを。」の言葉から豊かにイメージして絵やポスターに表していたことがたいへん素晴らしいと感じました。それはいろいろなことを主題とした作品が多かったことからわかります。ただそれは簡単なことではなかったと思います。何を描こうかと一生懸命に考えた成果だと思います。

応募校の多くは青少年赤十字加盟校でしたので、青少年赤十字の活動からイメージしたのではないのでしょうか。特に、実践目標の3つ「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の中から1つ選んで描いた作品が目立ちました。

「健康・安全」では、コロナの予防としての手洗い・うがいの励行や交通安全を描いて命の大切さを伝えてようとしていました。「奉仕」ではお掃除や給食の準備、落ち葉掃きや地域の清掃活動を一生懸命にする姿や募金などボランティア活動を描き、誰かのために役に立とうとする作品が目に残りました。「国際理解・親善」では、様々な国の子どもたちが仲良く描かれている作品やお年寄りに親切にしたり交流したりしている作品もありました。

また、青少年赤十字または赤十字のことをよく研究して、様々な活動や事業を1つの画面に効果的に配置した作品も数点あり目を引きました。青少年赤十字の基本原則「人道」から派生して、中高生は人権の保護について訴える作品も心に残りました。そこから発展させ、地球規模の平和、環境の保全、動物の愛護といった大きなテーマを描いた作品も印象に残りました。

さらに、驚いたのは実際の活動ではなく、「やさしさ」という言葉から想像したことを構成してイメージ画を描いてきた作品が多数あったことです。低学年の皆さんが「やさしさ」を絵で表すことはたいへん難しかったと思います。それでも、「やさしさ」から想像して暖色を中心に明るい色遣いで彩色したり、虹や花やハートを散りばめたり工夫が見られました。笑顔にあふれ、手を差し伸べたり、手をつないだり、手で何かを守ったりする作品が多く、どの作品を見ても心がほっこりしました。

2021年12月9日（木）に日赤岩手県支部会議室で、岩手県教育研究会美術部会会長 紫波町立紫波第三中学校 佐藤智一校長先生を審査委員長として審査会が行われました。

その結果、**滝沢市立鵜飼小学校4年三浦伶歩さんの最優秀賞（日赤岩手県支部長賞）**をはじめ10点の入賞作品と59点の入選作品が選ばれました。また、団体賞には、盛岡市立中野小学校、八幡平市立西根中学校、岩手県立一関第二高等学校がそれぞれ選ばれました。受賞された皆さん、誠におめでとうございます。

これからも、100周年のテーマ「未来のあなたへ、やさしさを。」について、「未来」とは？「あなた」とは？そして本当のやさしさとはどんなことなのだろう？と考え、行動する皆さんであってほしいと心から思いました。

最後になりましたが応募にかかわり児童生徒の皆さんへ働きかけをしてくださった各校校長先生、JRC担当の先生、各地区指導者協議会会長の皆様に厚く御礼を申し上げます。